

# 佐伯市バイオマス産業都市構想の概要

大分県佐伯市、人口 約7.7万人、面積 約9.0万ha

## 構想の概要

環境に優しくかつ災害に強い地域づくりを進めるとともに、新しい地域産業となるクリーンエネルギー産業を創出し、併せて雇用機会の創出を目指す。

## 1. 将来像

- ①市内で確保可能なバイオマスを最大限に活用することにより、以下を実現化し、地球温暖化防止に貢献
  - ・「豊かな自然を次世代に引き継ぐまち」の実現化
  - ・「安全で住みよいまち」の実現化
  - ・「産業を振興し、仕事と地域を誇れるようなまち」の実現化
- ②市・企業・市民が協同して新たな取組を行い、国のエネルギー供給体制の分散化の一翼を担いながらクリーンエネルギー産業を創出

## 3. 目標(10年後)

バイオマス利用量(炭素換算)

- ・廃棄物系バイオマス:10,320t/年(現在9,504t/年)
- ・未利用バイオマス:3,977t/年(660t/年)
- ・バイオマス合計:14,297t/年(10,164t/年)

※ 産業化の可能性が高いバイオマスを、従来のマテリアル中心の利用からエネルギー利用に変換(活用方法の見直し)

## 5. 実施体制

- ・市と関係機関や民間企業、住民の代表で構成される「佐伯市バイオマス利活用推進協議会」を中心に事業化プロジェクトを展開
- ・事業化プロジェクトは企業誘致により推進
- ・定期的に「佐伯市環境審議会」に報告、取組状況を確認・評価

## 2. 事業化プロジェクト

- ①木質バイオマス発電施設(蒸気タービン発電)による林地残材等の活用(製材工場残材、公園剪定枝、林地残材等)
  - ・助燃剤としてPKSを使用、温水・蒸気は施設内等で再利用
- ②バイオガス製造施設(メタン発酵)による下水汚泥等のエネルギー利用(下水汚泥、食品残渣、焼酎かす等)
  - ・温水、蒸気は隣接する施設で使用
  - ・乾燥汚泥は堆肥や発電燃料として活用

## 4. 地域波及効果

- ①化石燃料使用の削減 石炭換算で11,642t/年の削減
- ②温室効果ガスの削減 70,288t-CO<sub>2</sub>/年の削減
- ③環境型社会の形成
- ④流木被害の減少
- ⑤雇用創出 65人
- ⑥地域経済の活性化 投資見込額62億円
- ⑦農業・林業の活性化
- ⑧ごみ焼却施設処理コスト等の削減  
燃料費等:4,200万円削減、手数料等:6,760万円削減

## 6. その他

- ・佐伯市地域新エネルギービジョン(H17)
- ・佐伯市行財政改革推進プラン(H22)
- ・佐伯市バイオマスタウン構想(H21)、佐伯市一般廃棄物処理計画(H21)
- ・第1次佐伯市総合計画(H25)、さいき903エコプラン(H25)

# 佐伯市バイオマス産業都市イメージ

## 【目指す将来像】

- ①豊かな自然を次世代に引き継ぐまち
  - ②安全で住みよいまち
  - ③産業を振興し仕事と地域を誇れるようなまち
- ⇒以上を実現し『九州一広大なやさしさ 佐伯』を目指す

## 《基本方針》

- ・産業化するバイオマスと技術の「選択と集中」
- ・「企業誘致方式」により利活用施設を整備

